

深川駅周辺複合施設建設基本設計書（案）

説明資料



蓬莱通線から見た外観イメージ

これまでの経過等

現状と課題

◇中央公民館の現況

建設から45年以上が経過し、施設・設備の機能低下により十分な環境での公民館活動が難しく、また、現行の耐震基準やバリアフリーの基準を満たしていないなど様々な課題を抱えています。

◇バスターミナルの現況

平成19年度にバス事業者が運営していたターミナルが廃止されて以降、市立病院前の待合所が主なバスの発着点として利用されていますが、JRとの乗継ぎなど利便性の向上やバス待合環境の改善などのため、バスターミナルの整備等を望む意見が多くあり、長年の懸念事項となっています。

主な取組経過等

平成26年～ 令和3年	深川市立地適正化計画、深川市総合計画等での公共交通に係る各種アンケート調査
平成27年度～ 平成31年1月	社会教育委員会議への諮問・答申 中央公民館利用サークルとの意見交換会
令和4年4月～	深川市複合施設整備検討委員会設置（市民15名）
令和4年6月～8月	学生ワークショップ、中央公民館利用サークルの意見を聴く会、深川駅利用学生アンケート調査
令和4年10月	市民説明会・パブリックコメント実施
令和4年11月	深川駅周辺複合施設整備基本計画の策定 ⇒生涯学習機能とバスターミナル機能を中心とした「複合施設」として「JR深川駅西側」に建設することを決定
令和5年8月	プロポーザル方式による基本・実施設計業者の決定
令和5年10月～ 令和6年1月	深川市複合施設整備検討委員会開催（基本設計）
令和5年10月	ワークショップ（学生、公民館利用サークル、子育て世代）
令和6年2月	深川駅周辺複合施設建設基本設計書【概要版】（案）作成



「市民説明会」「パブリックコメント」実施

深川駅周辺複合施設建設基本設計書（案）

1 基本方針

◆基本コンセプト 「まなぶ」「ふれあう」「つながる」まちの交流拠点

基本方針1 誰もが訪れやすく利用しやすい施設	<ul style="list-style-type: none">・気軽に訪れくつろげる空間となるよう、自由に滞在できるロビー等を設けます。・誰もが安心して快適に利用できるようユニバーサルデザインの考えを取入れます。
基本方針2 多様な学びや交流が可能となる施設	<ul style="list-style-type: none">・サークル活動や学習活動等が行える部屋を設けるなど、多様な学びを支える施設とします。・多世代の交流が生まれる場をつくります。
基本方針3 便利で安心な暮らしを支える施設	<ul style="list-style-type: none">・快適にバスの乗降ができるよう公共交通レーンとバス待合を設けます。・災害時の避難場所として、避難スペースや炊き出しを想定した部屋の配置とします。
基本方針4 環境に配慮した施設	<ul style="list-style-type: none">・自然エネルギーの活用や省エネルギー化を図り、環境負荷と維持管理コストを抑えた施設とします。
基本方針5 経済性と機能性のバランスがとれた施設	<ul style="list-style-type: none">・コンパクトで無駄のない「経済性」と、様々なニーズに応えられる利用しやすい「機能性」のバランスを取り、長期にわたり利用できる施設とします。
基本方針6 誇りと愛着を感じるまちの顔となる施設	<ul style="list-style-type: none">・深川のシンボルとなるよう外観デザインを工夫し、開放感のある施設とします。・内装材や椅子・テーブルなど備品等に地域材を活用します。

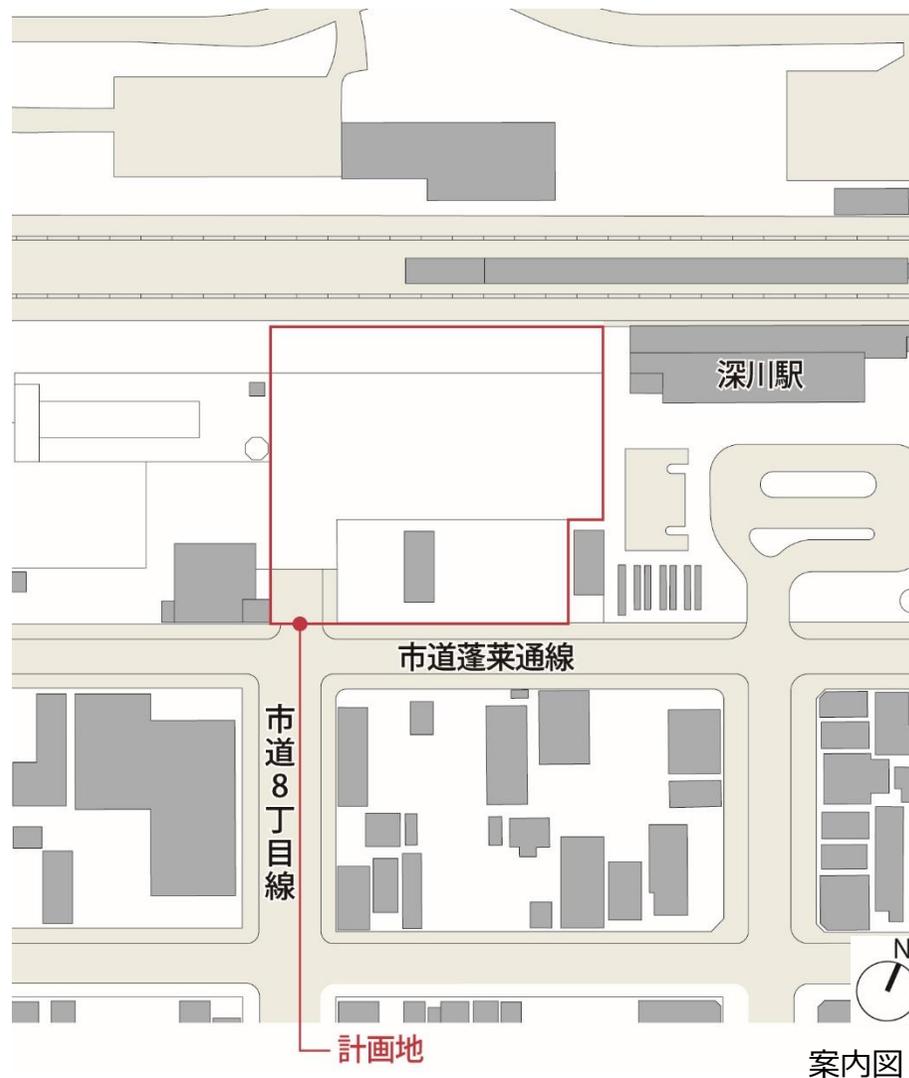
2 計画概要

敷地概要

建設位置	深川市1条8番
敷地面積	約6,000㎡

建物概要

構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上3階
建物高さ	15m
駐車台数	40台
駐輪台数	10台
延床面積	約2,570㎡



3 配置・動線計画

配置計画

- ・複合施設は事業予定地の北東側に配置
- ・公共交通レーンは西側に配置
- ・バス乗降所はバス待合スペースに近接した位置に配置し、庇や屋根付きの通路を整備
- ・駐車場は複合施設の南側に配置
- ・複合施設東側と駅前広場敷地の間に屋外キッズパークを計画

動線計画

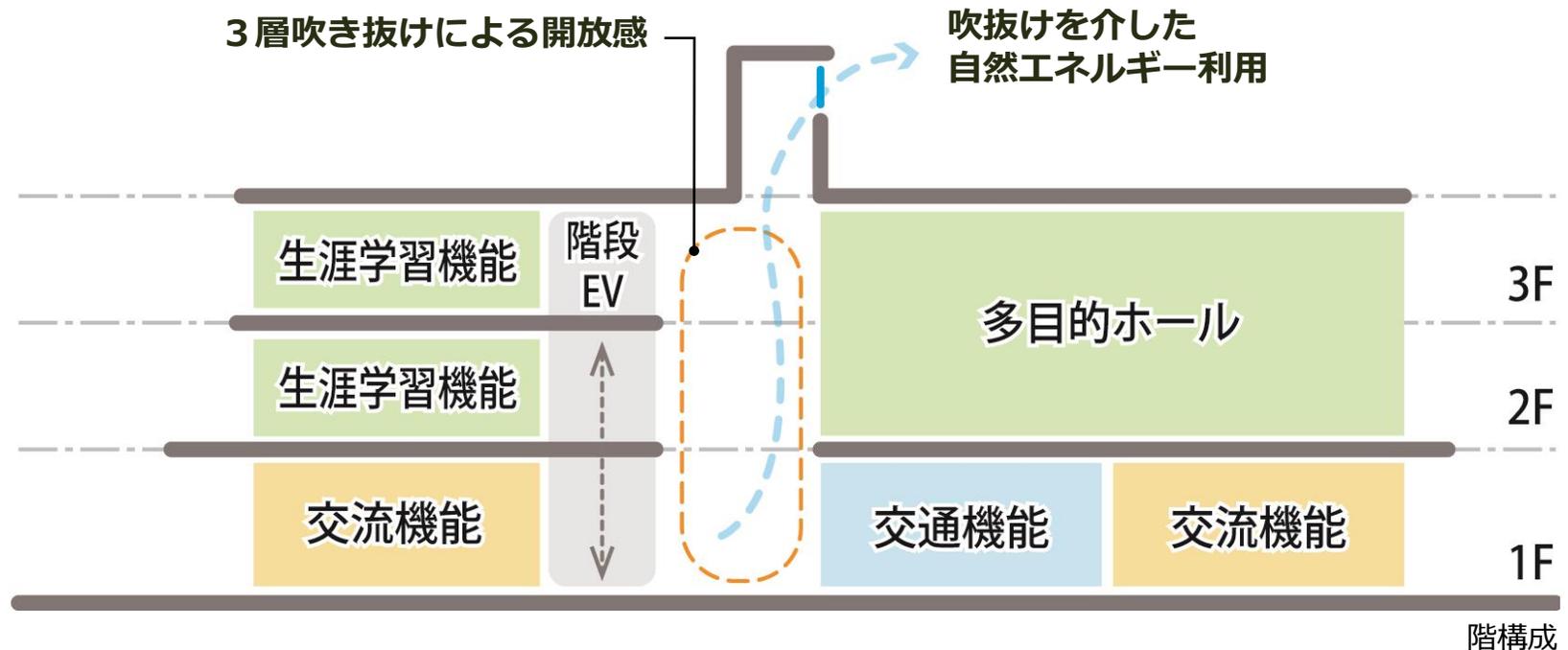
- ・複合施設の出入口は西側、東側及び駐車場に面した南側に設置
- ・公共交通レーンは安全性、利便性を考慮し、一方通行のロータリー形式として計画
- ・バス乗降所に面する通路は安全で快適に歩ける通路幅を計画
- ・南側出入口に近接して幅の広い駐車スペース（思いやり駐車場）を配置



配置図

4 階構成計画

- ・公共交通レーンや駐車場の整備など、限られた敷地の有効活用を図る必要があることから建築面積を抑えるため3階建ての構成
- ・各機能をフロアごとに区分し、利便性の高い機能的な階構成
- ・1階は開放的なつくりとし交通機能・交流機能を配置
- ・2階、3階は多目的ホールを中心として生涯学習機能を配置
- ・エレベーターを設置して利用者の円滑な移動に配慮



5 平面計画

■ : 生涯学習機能

■ : 交流機能

■ : 交通機能

■ : 廊下・他共用部

■ : その他



■ 1階

基本的な考え方

- ・バス乗降場、深川駅、駐車場からアクセスしやすい位置に出入口を設置
- ・壁を少なくしガラス面を多くするなど、1階全体が開放的な空間となるよう計画
- ・公衆無線LAN等を整備
- ・デジタルサイネージ等での情報発信を計画

【スタディールーム】

- ・多世代が利用しやすいようガラス張りで開放的なつくり

【ロビー】

- ・机や椅子等を配置するほか、図書コーナーを設けるなど、誰でも気軽に利用できる空間

【バス待合】

- ・バスの発着が見やすい西側に配置
- ・トイレや風除室に隣接

【階段3】

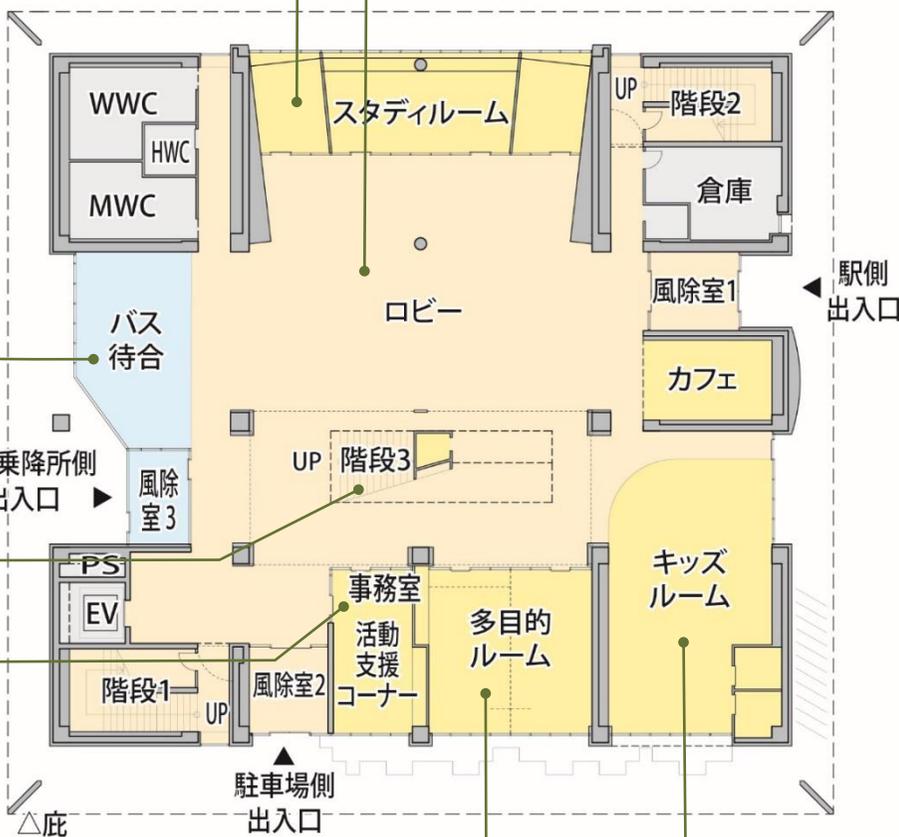
- ・上部は吹抜けとし、開放感とにぎわいが感じられる空間

【事務室】

- ・駐車場側やエレベーター付近の利用者が認識しやすい配置
- ・活動支援コーナーにはコピー機等を設置

【多目的ルーム】

- ・1階でも会議やサークル活動等の使用を想定



【キッズルーム】

- ・子どもたちが安心して遊べるよう整備
- ・子ども用トイレや授乳室等を併設
- ・屋外キッズパークを設け、一体的な利用が可能

5 平面計画

■ : 生涯学習機能

■ : 交流機能

■ : 交通機能

■ : 廊下・他共用部

■ : その他



■ 2階

基本的な考え方

- ・各部屋と通路の間仕切りは可能な限りガラス面を採用し内部の活動を伝え、にぎわいや明るさを感じられる計画
- ・2階に防音対策を講じた部屋を集約

【多目的ホール】

- ・大人数での会議やイベント、サークル活動等、多目的に使用
- ・放送設備の使用や楽器演奏等による防音対策を講じる
- ・災害時の避難スペースとしての使用を想定

【ホワイエ】

- ・受付などホール機能を補完するスペースとして使用
- ・スタディコーナーと合わせ、開放的なガラス張りとし東西の自然採光や自然通風を確保

【調理室】

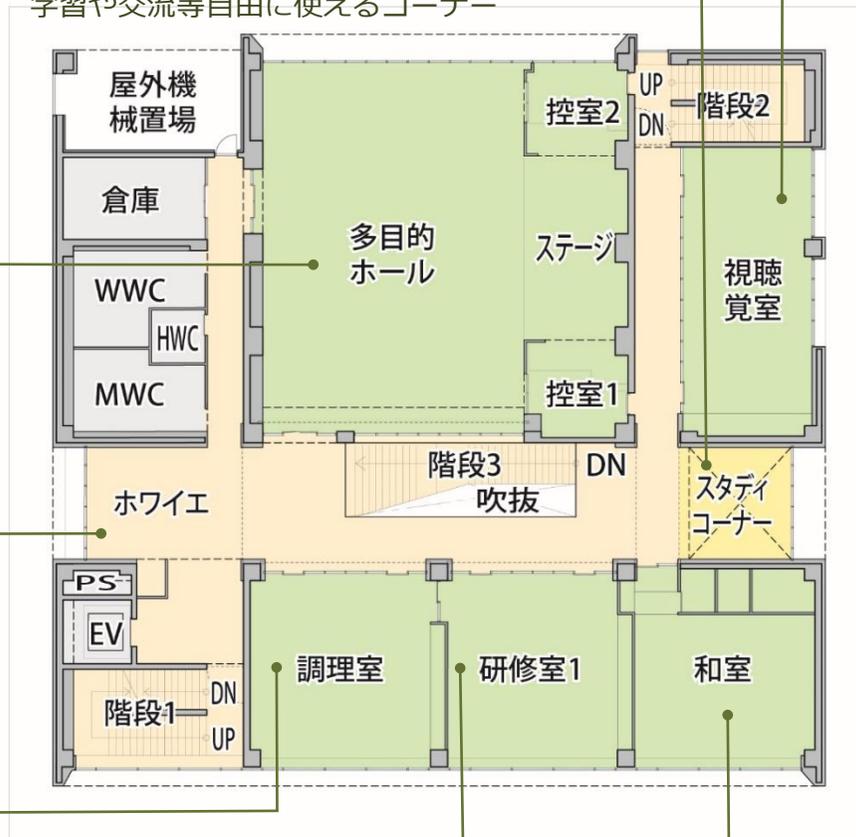
- ・料理講習やイベント等の調理場として利用
- ・災害時は炊き出しでの使用想定

【視聴覚室】

- ・楽器演奏や合唱等で使用、防音対策を講じる
- ・多目的ホールの控室として機能

【スタディコーナー】

- ・上部を吹き抜けとする開放された空間で学習や交流等自由に使えるコーナー



【研修室1】

- ・会議やサークル活動等で使用
- ・音が出る活動の利用も想定し防音対策を講じる

【和室】

- ・サークル活動のほか災害時の避難スペース想定

5 平面計画

生涯学習機能

交流機能

交通機能

廊下・他共用部

その他



3階

基本的な考え方

- 2階と同様、各部屋と通路の間仕切りは可能な限りガラス面を採用し、にぎわいと明るさを感じられる計画

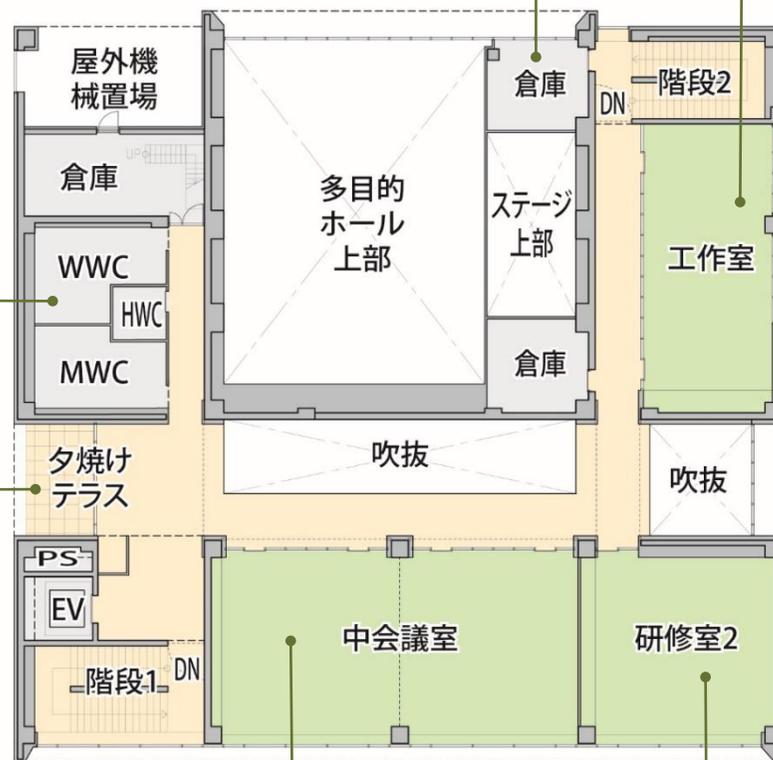
【トイレ】
オストメイトやバリアフリー対応の多目的トイレを全階に設置

【夕焼けテラス】
夕焼けや行き交う電車等が展望できるテラスを設置

【中会議室】
・中規模な会議や研修のほかダンスなどある程度のスペースが必要なサークル活動等で使用する部屋を想定
・可動間仕切り壁を設け、部屋を分割して利用が可能な計画

【倉庫】
ステージ脇控室の上部のスペースを有効に活用し倉庫を設置

【工作室】
・工作や陶芸等のサークル活動を想定
・陶芸窯等の設置



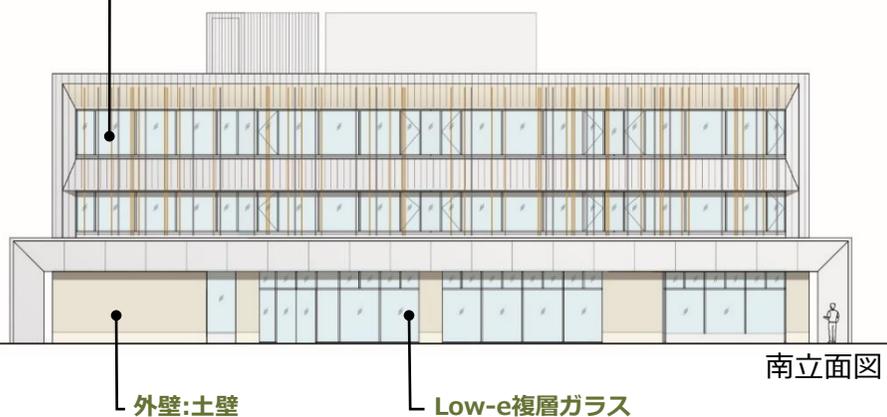
【研修室2】
会議や各種サークル活動などで使用

6 立面計画

深川らしさをイメージできる外観

- ・ 周辺環境と調和しシンプルかつ機能的な立面計画
- ・ 建物の四方に庇を設け、人々を迎え入れるデザイン
- ・ 外壁の一部にセメントに土を混ぜ合わせた土壁を検討
- ・ 市の木しらかばの木立を表現する縦ルーバーを検討

再生木材とアルミの縦ルーバー



南立面図

厳しい自然環境に適応する外装材の選定

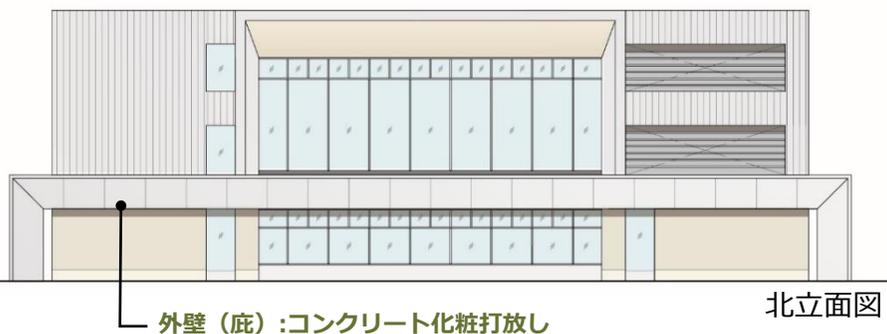
- ・ 上層階は維持管理が容易な金属系外装材を採用
- ・ 外断熱工法や窓にLow-e複層ガラスを採用
- ・ 庇を設け夏期の日射を遮蔽し熱負荷の軽減と外壁の保護を行い施設の長寿命化を図る。

外壁:カラーガルバリウム鋼板

太陽光パネル



西立面図



北立面図



東立面図

7 断面計画

- ・ 1階は天井高を高くして、視認性や快適性等を確保
- ・ 2階、3階は多目的ホールを中心に一体感を確保し、全体をコンパクトに計画
- ・ 階段部分を利用し3層吹抜けを設け、開放的な空間やにぎわいの創出、自然エネルギーの活用

8 環境配慮計画

基本方針

- ・ 省エネルギー設備を導入し建物の一次エネルギー消費量40%削減を目指す。

熱負荷を低減する建築計画

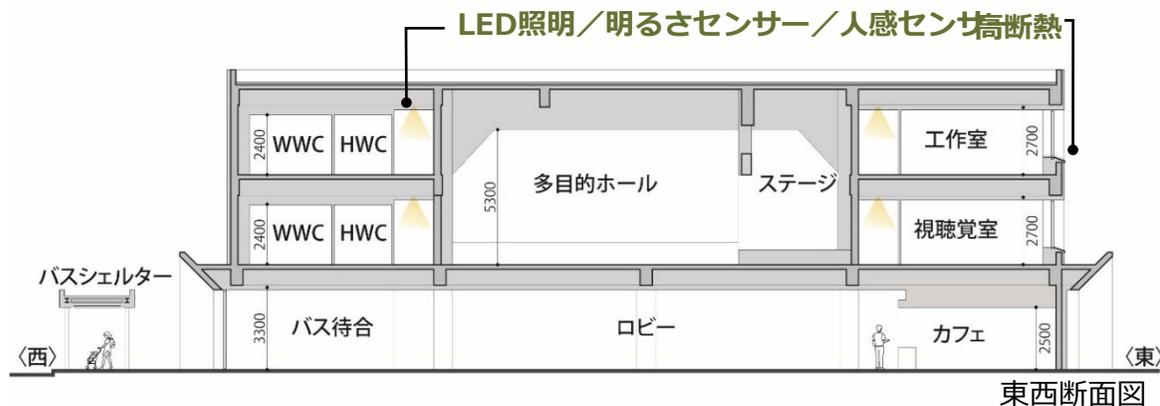
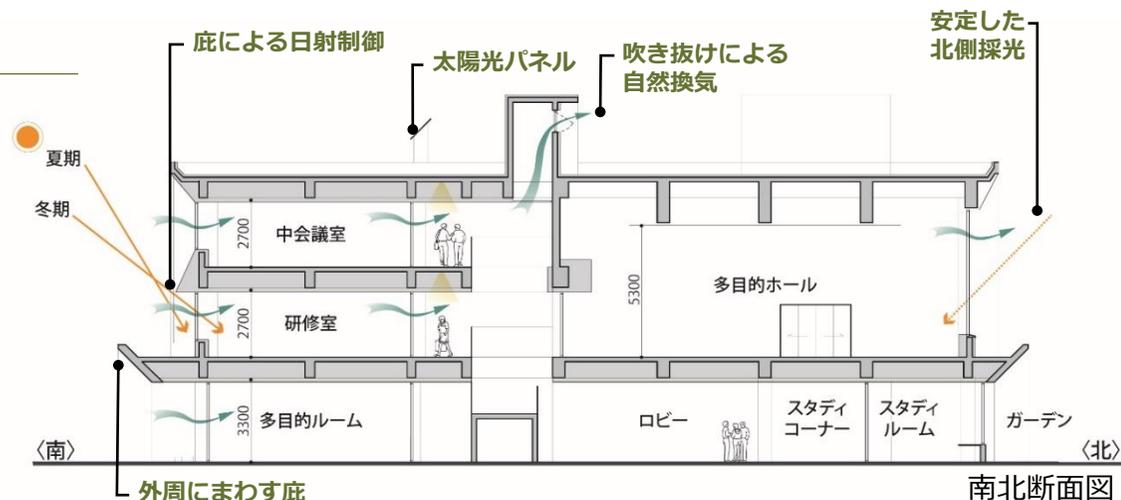
- ・ 庇による夏期の日射遮蔽、外断熱工法やLow-e複層ガラスを採用し熱負荷を低減

高効率機器を活用した省エネルギー化

- ・ 照明は全てLED照明を採用しセンサー等の導入により、照明エネルギー消費量を抑制

自然エネルギーの活用

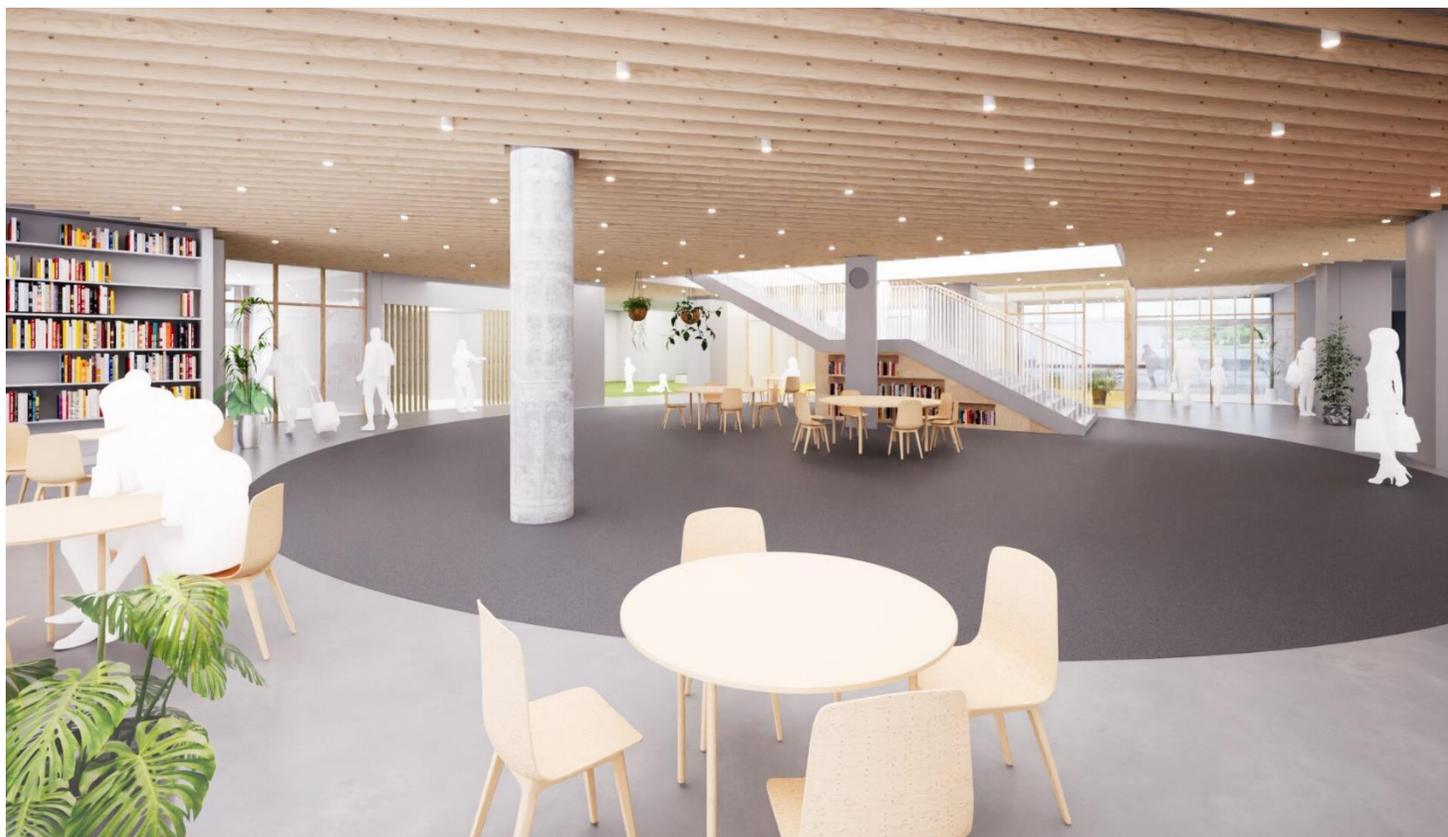
- ・ 冬期の日射を取り込み暖房負荷を低減
- ・ 排煙窓を利用した効率的な自然換気
- ・ 太陽光パネル設置による自然エネルギー活用



9 内装計画

基本的な考え方

- ・床面は、耐久性やメンテナンス性に優れ自然素材であるリノリウムや、用途によりタイルカーペット、ビニル床シートを使用
- ・内部の壁や建具には、ガラス面を多く採用
- ・1階ロビーの天井を木製ルーバーとし、利用者に親しまれ温かみのある空間とし、吸音のためグラスウールボードを使用
- ・その他の部屋の天井は、岩綿吸音板を検討



スタディールームから見たロビーのイメージ

10 ユニバーサルデザイン計画

「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び「北海道福祉のまちづくり条例」の整備基準に基づき、すべての人に対し安全でわかりやすく利用しやすい、市民に広く開かれた施設を目指して整備

□動線計画

- ・廊下は車椅子利用者がすれ違うことができるよう、ゆとりある通路幅を確保
- ・視覚障がいの方が移動しやすいよう、誘導ブロックを設置
- ・床は滑りにくい材料で仕上げ、段差のない安全な歩行動線を確保
- ・階段は、幅員、踏面等の寸法など安全性に十分配慮し円滑な通行を確保
- ・部屋の出入口には、可能な限り引き戸を採用
- ・駐車場側の出入口に近い位置にエレベーターを設置
- ・天候の影響を極力受けずに移動ができるよう、建物の四方に庇を設置



ピクトグラムの例

□駐車場計画

- ・駐車スペースが広い「思いやり駐車場」を出入口から近い位置に設置

□トイレ計画

- ・オストメイト機能を備えた多目的トイレを各階へ設置
- ・各トイレには非常用呼出ボタンを設置

□サイン計画

- ・絵文字（ピクトグラム）を利用し、誰にでも分かりやすい案内表示を設置
- ・案内板やエレベーター、手すり等には点字サイン等を設置



英語を併用した案内サイン

11 構造計画

基本的な考え方

- ・災害時に「指定避難所」として機能する建物を計画
- ・官庁施設の総合耐震計画基準に準拠し「耐震安全性分類Ⅱ類」（重要度係数 $I = 1.25$ ）相当とし、耐震性を有する構造

基礎形式

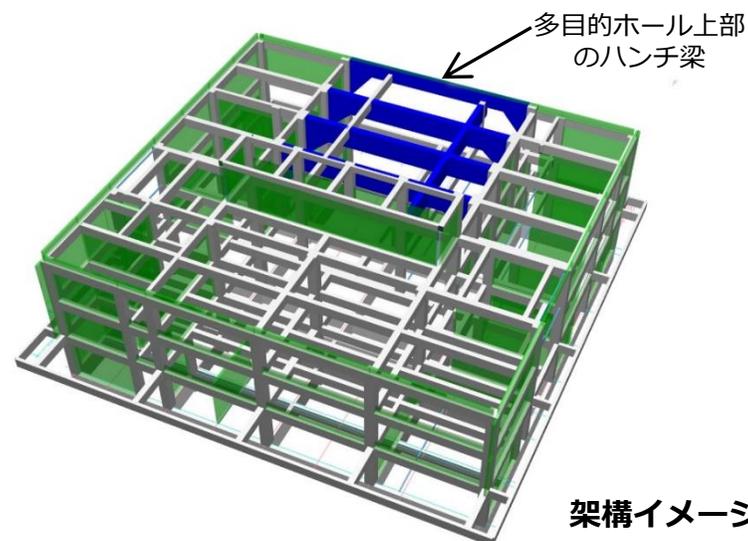
- ・地質調査で、4m以深にN値30以上の砂れき層が確認できるため、これを支持層とした杭基礎を採用

○耐震安全性の目標（官庁施設の総合耐震計画基準等）※抜粋

耐震安全性の分類	大地震時の耐震安全性の目標 極めて稀に発生する地震動	適用されるべき建物
Ⅱ類相当 ($I = 1.25$)	<ul style="list-style-type: none">・建築物内での基本的活動を維持するための重要機能が確保され、避難所として利用できる。・インフラ等の復旧に伴い、限定された範囲の主要業務・活動が再開できる。	病院、避難施設、コンピュータセンター、本社機構等地震被害を小さくしたい建物

構造計画

- ・建物は、耐震性・耐火性・防音性・耐久性およびコスト面で優れる鉄筋コンクリート造を採用
- ・耐震要素（壁・柱）は平面的及び立面的にバランス良く配置
- ・構造形式は、規模、建設コスト、工期などから経済性、施工性に優れる耐震構造を採用
- ・汎用性のある一般的な工法を採用
- ・多目的ホール上部は特殊工法を採用せず、端部梁せいを大きく確保するハンチ梁の手法を採用



架構イメージ

12 設備計画

□電気設備工事

電灯設備	・ LED照明、集中制御（各種センサー）
受変電設備	・ 屋外キュービクル式、油入式変圧器
自家発電設備	・ 防災負荷用：消防認定非常用発電機 ・ 災害時：LPガス非常用発電機（ガスバルク）
太陽光発電設備	・ 太陽光パネル（10.0kw程度）屋上設置
音響・照明設備	・ 多目的ホール（ステージ）に設置
情報通信設備	・ 公衆無線LAN等
情報表示設備	・ デジタルサイネージ
誘導支援設備	・ トイレ：緊急呼出しボタン、表示装置 ・ 風除室前：カラーモニタ付ドアホン ・ 事務室：カラーモニター付インターホン親機、表示装置

□機械設備工事

熱源設備	・ 液化石油ガス（ガスバルクタンク設置）
空気調和設備	・ 各室：高効率型ガスヒートポンプエアコン（GHP） ・ 災害対応室：電源自立型ガスヒートポンプエアコン
換気設備	・ 第1種換気（全熱交換型）
給水設備	・ 水道直圧方式（または水道増圧方式） ・ 災害時（雑用水）：消火水槽兼雑用水槽により加圧給水ポンプを用いる。 ・ 災害時（上水）：ペットボトル対応
排水設備	・ 屋内合流方式（汚水+雑排水）、屋外分流方式（汚水+雑排水、雨水） ・ 災害時：災害時のみ利用する排水槽、マンホールトイレの設置
給湯設備	・ 給湯室等：電気貯湯式給油器 ・ 調理室：ガス瞬間湯沸器
衛生器具設備	・ 節水型器具、自動水栓（自己発電型）等

13 概算事業費・工事工程表

概算事業費

項目	金額	備考
建設工事費	19億8,000万円	複合施設建設工事（建築・電気設備・機械設備工事）
その他費用	9億7,000万円	用地買収、補償費、外構工事、バスシェルター建設工事、アーケード建設工事、中央公民館解体工事、跡地整備、備品購入等
合計	29億5,000万円	

全体事業工程

令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
基本・実施設計	建設工事			
外構	外構	外構	中央公民館 解体	跡地整備

～ パブリックコメント（意見募集）を実施しています ～

資料の閲覧場所	深川市役所（1階ロビー、2階 複合施設整備推進室）、納内支所、多度志支所生きがい文化センター、文化交流ホール「み・らい」 中央公民館、音江公民館、市ホームページ
応募方法	閲覧場所に備え付け、または市ホームページからダウンロードした意見提出用紙に必要事項を記入の上、持参・郵送・FAX・電子メールのいずれかで応募してください。
応募期限	令和6年3月8日（金）まで
応募・問合せ先	深川市建設水道部都市建設課複合施設整備推進室整備推進係 〒074-8650 深川市2条17番17号 ☎：26-2240 FAX：22-8134 電子メール：fukugou@city.fukagawa.lg.jp